

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ちびっこタイム品川		
○保護者評価実施期間	2026年2月13日		～ 2026年3月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	2026年2月13日		～ 2026年3月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月24日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	就労に向けた個別学習	<ul style="list-style-type: none"> ・就労に向けて一人一人に合わせた課題を提供しています。個別学習内に【着席をし作業をする】【報連相を意識し行う】【他児者とのコミュニケーション】を盛り込みプログラムを進めています。 ・月に2回、普通学級、支援学級の児童に向け、公認心理師と小グループでのSSTクラスを設けました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SSTクラスを2～3人のグループでの取り組みと併せ、全体(10名)での実践の場を設ける流れを作ります。 ・個別学習内での【他児者とのコミュニケーション】課題を増やし、やり取りを学ぶ場を増やしていきます。
2	日常生活のスキル向上の為の運動療育	<ul style="list-style-type: none"> ・日常に必要な動きをスムーズにするため、体幹トレーニング、筋力トレーニングを進めています。 ・保護者会、面談、日々の連絡帳を通し、保護者へ何故運動が必要かを伝えていきます。 ・筋力トレーニング等、苦手意識が芽生えないよう、音楽に合わせてダンスとしても取り組める内容にし提供しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続し取り組む内容に関してもPTと相談をしながら、マンネリ化しないよう対策を進めていきます。 ・職員一人一人が保護者に何故この動きが必要なのかを保護者に説明できるよう日々の振り返り、担当者会議、勉強会を通し、共通認識として向上していきます。
3	保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者面談以外にも日常の困り事に対する相談を含め、電話、連絡帳、送迎時の引き渡しの時間を通し、保護者と連携を行い、必要に応じてアドバイスを行っています。 ・相談を受けた内容を支援に盛り込み、各児童に個別に対応を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童への観察、考察をするスキルを職員全体が高めていけるよう、振り返り時に職員が意見交換しやすい環境を作り、共通認識を持ちながら、保護者との連携を進めていきます。 ・保護者が、施設職員全体に安心し気持ちを伝えて行けるよう、都度気持ちに添いながら、保護者の良き理解者として関係性を深めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子もたちと事業所との交流機会	<ul style="list-style-type: none"> ・品川区主催の冒険広場に参加を行ったが、安全性の確保がメインとなり、児童同士の関わりが広がらずにいました。 ・長期休みの利用がメインとなり、定期的な参加が出来ずいました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の交流の場とし、保護者にも冒険広場の事を伝えていき、当施設でも利用をしている場として意識してもらえるようにしていきます。 ・今年度は、長期休みを利用し防災センターや当法人の作業所見学を行いました。今後は全ての曜日で利用していけるよう手配を進めていきます。
2	安全管理や防災に関するマニュアルなどの周知を図っていく	<ul style="list-style-type: none"> ・諸規定やマニュアル等の周知を積極的に行っていなかったことが課題と考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・諸規定等をいつでもご覧になっていただけるよう、保護者への周知していきます。
3	収納スペースの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具を収納する際のスペース作りや出しやすい場所を再度検討し、場面転換をスムーズに出来るよう工夫する必要があると考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で、使用する頻度の高い遊具を相談しながら、収納方法を検討していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ちびっこタイム品川
------	-----------

公表日 2026年4月30日

利用児童数 42名

回収数 29名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	27	0	0	2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	2	0	1		・1日の流れを分かりやすく視覚化し、活動を進めております。また、1階のみでの活動となるため、階段の使用はございません。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29	0	0	0	・本人について深く理解して頂いており、信頼してお任せしております。 ・音楽やダンスなどのプログラムは楽しみの一つです。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28	0	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29	0	0	0	・ここまで将来を考えながら計画に沿ってプログラムを実施している事業所はなかなかないと思います。いつもありがとうございます。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	0	0	2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29	0	0	0	・子供が楽しめるように工夫されていると感じる。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	4	7	9	・特にとめていないのでなくてかまわない。 ・必要性は感じていない。 ・中々難しい事、承知しています。 ・求めているのでこのままで良いです。	・地域の方々や子どもたちとの交流を図る場として、品川が委託をしている【こども冒険ひろば】に参加をしています。学校の授業の状況により出向ける日が限られている為、今年度は長期休みを利用して近隣の施設を含め、交流の場を広げていく予定です。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28	0	1	0		・契約時に説明を行っております。ご不明点がある場合は都度ご質問に対応を行っています。	
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29	0	0	0			
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	29	0	0	0	・グループホーム勉強会、きょうだい児、父の会等、家族に向けたイベントがあり、とても有難いです。 ・ルクミー（アプリ）で ・就労支援の研修会などがこれに当てはまるのかなと思います。	・ペアレントトレーニングの実施は行っておりません。研修会は通知が届いた際にお知らせさせて頂いております。また、保護者会を通じ、年に1度の勉強会を実施しております。日頃の関わりで困ったことなどありましたらぜひご相談ください。	

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	29	0	0	0	・いつも相談しやすい対応をして頂ける。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	0	0	0	・面談で本音を言えるのは、保護者にとってもありがたいです。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	29	0	0	0	・保護者会が定期的に開催され、保護者の方と顔見知りになることが出来、情報交換が出来、とても心強く感じています。 ・交流会があり、とてもありがたいです。 ・残念ながら参加には至らなかったのですが開催されていて良さそうだと思います。次回は参加したいです。	・前期、後期の保護者会と併せ、令和7年度より、父の会、きょうだい児の会の実施を行いました。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	28	0	0	1		・ご希望に応じ、前期後期の面談にかかわらず、面談の場を設けて頂いております。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	28	1	0	0		
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29	0	0	0		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	0	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29	0	0	0	・非常食を配布して頂くのも、どのようなものを用意されているのかわかるのでありがたいです。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29	0	0	0		
満足度	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	0	0	0		
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	29	0	0	0	・本人の特性、持病についてよく理解して頂いており、本人も安心していると思います。 ・不安感の強い娘が安心して過ごせる大切な場所です。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	29	0	0	0	・家庭や学校とは違う居場所があるのは、交友関係も広くなり楽しみの一つです。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	0	0	0	・とても満足しています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名						公表日	2026年4月30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0		・人員配置は問題ない日もあるが緊急で利用している児童がいる日は配置が足りないこともある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0		・玄関の段差とフロアがつながっている為、フェンスガードの対策があると良い。 ・玄関が段差がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0		・ドアノブに子どもが頭をぶつける可能性があり、開き戸ではなく、引き戸が好ましい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	・日々の振り返りを時間をかけて丁寧に行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・非常勤職員も気兼ねなく参加できている。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・日々、反省会や振り返りの場を設けて小さな内容も全体で拾えるようにしている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・固定化しないよう組んでいるが、児童の特性上継続が必要な内容も多い。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・毎日、打ち合わせを行い、その日の流れや注意点等を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・微細課題の選択や、おやつ時に味の選択で自分で決める体験の機会を設けている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	・研修への参加を行った。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	・公園遊びの際、品川区で取り組まれている外遊びの場へ出向いている。 ・NPO法人そとぼーよが主催している遊び場に行くことがある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	・グループホームや就労移行等、当法人の管理者を招き、保護者の勉強会を行っている。 ・研修会や集まりがある時はルクミーの“おたより”機能を使用し、配信している。 ・半期に一度、保護者面談が行われているほか保護者会で関わりがある。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・契約時に行っている。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	0	・今年度は父の会やきょうだい児を含む交流会を開催した。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・活動の写真と併せ、取り組みを保護者会で発表している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	・必要な児童には支援計画に記載している。		